科目ナンバリング	U-LAS05 20019 LJ23				
授業科目名<英訳>	地域地理学各論III（アジア・アフリカ） Topics in Regional Geography III(Asia and Africa)	担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　小島　泰雄		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：中国の「統一性の中の多様性」を考える。
私たち日本に暮らす者にとって、中国について語ることは、それほど難しいことではない。しかし、中国のもつ多様性はそうした中国イメージを容易に解体してしまう。この授業は、地域地理学の視角から中国を考えることを通して、地域地理学的な方法に関する理解を深め、あわせて確かな中国像の形成をめざす。

[到達目標]

地域地理学の方法を具体的に修得する。
中国についての深い理解を形成する。

[授業計画と内容]

以下のような課題について、各回1課題の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。

（１）統一性の中の多様性：　中国イメージとは？
（２）人口：　中国人口の「統一性の中の多様性」
（３）地形と気候：　多様性を簡潔に理解するための地域区分
（４）米と小麦：　農業の地域的多様性とは？
（５）食文化：　どのような地域的な特徴があるか？
（６）都市：　都市の多様性を把握する３つの方法
（７）工業：　形成過程から考える多様性
（８）資源：「南水北調」をめぐって
（９）環境問題：　共感的に理解する中国の環境
（１０）日中戦争：　戦争の記憶について考える
（１１）地域格差：　多様性が格差に変わるのは？
（１２）労働移動：　「農民工」が示す中国とは？
（１３）多民族国家：　中国における民族と国家の関係
（１４）華僑・華人：　4500万人がつくるネットワーク

[履修要件]

特になし

地域地理学各論III（アジア・アフリカ）(2)へ続く↓↓↓

地域地理学各論III（アジア・アフリカ）(2)

[成績評価の方法・観点]

主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。
授業への参加度は、授業終了時のミニッツペーパー（5%）と授業後2週間以内に提出する課題レポート（15%）の提出によって測る。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは2回の提出を標準とする。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うことになります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部